

まちを耕し、ひとを育む



Ishinomaki
Kawanokami
Project



写真提供：C.W.ニコル・アランの森財団



イシノマキ・ カワノカミ大学 #004

森と共に生きる、
地域と共に生きる、
地域主体のコミュニティデザインと
地域創造

2014年2月15日(土)

受付 16:00
第1部 セッション 17:00~19:00
第2部 懇親会 19:10~
[会場] 川の上・百俵館(三浦家敷地内)
宮城県石巻市小船越字山畑343-1
[参加費] 2,500円(懇親会代・講演会無料)
[主催] 石巻・川の上プロジェクト
090-8310-8783(担当:三浦)
<http://kawanokami.com>

講師

風見 正三 SHOZO KAZAMI / PROFESSOR
宮城大学事業構想学部 副学部長 教授

イシノマキ・カワノカミ大学では、第一線でご活躍の講師をお迎えし、まちづくりの「種」になるご講演をいただきます。#004では、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスを切り口に全国の社会問題を解決する地域資源を活かしたまちづくりに関わり、現在は、東日本大震災で被災した東松島市野蒜地区で、C.W.ニコル氏と「復興の森づくりと森の学校」プロジェクトを精力的に推進されている、宮城大学事業構想学部副学部長・教授の風見正三先生をお招きし、「森と共に生きる、地域と共に生きる、地域主体のコミュニティデザインと地域創造」と題してご講演いただきます。

1960年生まれ、茨城県出身、現在、宮城大学事業構想学部 副学部長・教授
英国国立ロンドン大学大学院都市地域計画学修士、経営学修士を取得後、東京工業大学大学院総理工学研究所環境理工学創
造専攻博士後期課程修了、博士(工学)。これまでに、財団系シンクタンク、総合建設会社を経て現職。全国の都市再生、地域再生、
環境共生のプロジェクトや都市政策、環境政策、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスに関する調査研究に携わっている。



FAX 申込書

FAX: 0225-22-4554

イシノマキ・カワノカミ大学 事務局宛

お問い合わせ：090-8310-8783 (担当：三浦)

ご芳名 (フリガナ)

年齢

才

ご住所 (フリガナ)

〒

E-mail

☎

() -

ご出席の場合は、FAXもしくはWEB / Eメールにてお申込みください。お申込み締め切りは、2月8日(土)とさせていただきます。
なお、お席には40席と限りがございます。満席になり次第締め切らせていただきますので、お申し込みはお早めをお願いいたします。

Eメールでのお申し込み

→ info@kawanokami.com

Webからのお申し込み

→ <http://kawanokami.com>

イシノマキ・カワノカミ大学の考え

わたしたちは、石巻・川の上で、豊かな暮らしと地域のモデルをつくるには、どうしたら良いのか長年考えてきました。石巻のまちは、バブル崩壊以降、衰退の一途を辿っていました。そして、2011年3月11日、東日本大震災と未曾有の津波が石巻地域を襲いました。まさに石巻の危機といえます。とはいえ、文明的な危機的状況に対して、国がおこるも、ほろびるも、まちが栄えるも、衰えるも、ことごとく「ひと」にあります。

石巻・川の上プロジェクトでは、新しい石巻・川の上、日本を生み出すべく、旧大谷地農協の米蔵跡地から「米俵百俵」の精神で、「ひとづくり」をはじめます。米俵百俵は、今は、ただの百俵ですが、後年には一万俵になるか、百万俵になるか、はかりしれない可能性を秘めています。危機に置かれた今だからこそ、教育が必要なのです。100年先、300年先の石巻・川の上の未来に思いを馳せて、世界に誇れる豊かな暮らしと地域のモデルをつくるため、まちを耕し、ひとを育てていきます。

米俵百俵の精神

戊辰戦争後、長岡藩は困窮していました。そこへ支藩の三根山藩からお見舞いとして米百俵が届きました。これを小林虎三郎は、「食えないからこそ、学校を建てて人材を育てるのだ」という信念を貫き、皆の反対を押し切って「国漢学校」を建てました。それが長岡の復興に繋がっていきました。

懇親会でのお料理について

懇親会では、テレビ朝日「みんなの食堂～絶対に残したい!しあわせな味～」という番組で取り上げられた、石巻漁港の丸魚食堂(津波で被災)の亀山寿子さんから三陸・海の幸料理、また、石巻の酒蔵が醸造する日本酒なども振舞われる予定です。

会場へのアクセス



- ①三陸縦貫道路・河北ICを出て、国道45号線を気仙沼方面に向かいます。
- ②道の駅「上品の郷」をすぎると、右手にJAのガソリンスタンドがあります。
- ③さらに50Mくらい走り、左手に雄勝方面へ行く側道が出てくるので、国道45号線から側道に入ります。
- ④側道に入ると、須田重機さんの看板が出てくるのでそこを通り過ぎ、白い塀と門が見えます。そこが百俵館です。

なお、お車でお越しの方は、追波川河川運動公園の駐車場をご利用ください。百俵館を通り過ぎるとトンネルがあります。そこを通り抜けると、追波川河川運動公園の駐車場があります。